

放課後等デイサービス

心・体・社会などの広い視点でお子様の「より良いあり方」を考える姿勢を大事に、支援の工夫をしたいと考えています。

健康・生活

健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの獲得、生活リズムの維持・調整のために、特性に配慮し時間や空間を本人に分かりやすく構造化していきます。

年齢と共に現れる心と体のバランスの変化に気が付ける様にきめ細やかな観察を行います。

運動・感覚

“緊張”“弛緩”など身体のコントロールをする練習や基本的な動作から応用的な動作までを習得出来る様に支援します。また、様々な感覚機能を使う遊びやルール・課題のある運動を行う事で、体の動きだけでなく考える力を伸ばしたり、ホルモンバランスを整え、気持ちや感情のコントロールにも繋げていくことを行います。

人間関係・社会性

ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを使用しながら、周囲を意識したり関わりを持つことで友だちと一緒に過ごす心地よさや楽しさを味わう経験が積み重ねられるように支援を行って行きます。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に“挨拶”“ルール”“マナー”“礼儀”“感謝”など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。“友人”“上下”“利害”“同盟”“協力”“対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。

言語・コミュニケーション

“要求”“報告”“聴く”“模倣”“注目する”など、自分も周りも大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、子どもに合った方法を一緒に考えていきます。また特性に応じた読み書きの練習なども支援していきます。

認知・行動

いろいろな課題に対して向き合える方法を工夫して、達成感を感じるような関わり方を模索し自信に繋がれるように支援します。子どもの行動においても丁寧に観察しながら意図を読み取り、寄り添い、社会的にも適切な行動を取れるように支援します。また、スケジュールの管理を行いながら時間の使い方や余暇の過ごし方を一緒に行動を考えていきます。

放課後等デイサービスは小学生～高校生までのお子様を対象に挨拶が出来る・時間が守れる・話を聞いて行動に移すなど自立するまでに身に付けたいスキルを学ぶ事が出来る場所です。またそれぞれの特性・個性に合わせて“安心した居場所”を提供したり身体のケアなど、5つの領域に分けた「5領域」に沿って支援を設定し、楽しみながら学べる工夫をしています。